

名古屋地域勉強会の活動

2015年7月24日(金)

特定非営利活動法人 **事業継続推進機構**(BCAO)
名古屋地域勉強会

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2014年度活動状況

1. 名称 : 名古屋地域勉強会
2. 座長 : 渡辺 研司
3. 勉強会事務局・会場 : 名古屋工業大学2号館
904B 渡辺研究室
4. 会員数 : 23名 (昨年比+個人5名)
(法人2社 個人20名 学生1名)

5. 2014年度 活動

- ① 各所属組織のBCP・BCMの取組み状況や問題に関わる情報交換, 座長などからの国際標準化や中京地域の官民連携の動きに関する状況アップデートなどを展開した
- ② 企業訪問 (会員企業訪問)
問題を見つける目は現地で。「現地現物」の精神で, 今年度は会員企業を訪問して, この学びを自社のPDCA改善に活かした

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2014年度主要活動内容（2014年4月～2015年3月）

- 2014年4月23日 勉強会（情報交換会） 15名
名古屋工業大学 渡辺研究室
- 2014年6月9日 会員企業訪問－1 11名
三重県環境保全事業団
（新小山最終処分場）
- 2014年7月14日 講習会 18名
「金融機関におけるBCMとレジリエンス」
日本政策投資銀行 BCM格付主幹
BCAO理事 蛭間芳樹 様
- 2014年10月20日 勉強会（情報交換会） 19名
名古屋工業大学 渡辺研究室
- 2014年12月9日 会員企業訪問－2 9名
鈴与株式会社
- 2015年3月11日 勉強会・新年会 15名
名古屋工業大学 渡辺研究室

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

企業訪問 - 1

(三重県環境保全事業団 新小山最終処分場)

1. 目的

最新の安定型の最終処分場における仕組みや環境リスクについて学ぶ。この学びを被災時に発生する大量の災害廃棄物対策に活かす

2. 日程 2014年6月9日

3. 参加人数 11名

4. 担当幹事 永木さん (三重県環境保全事業団 会員企業) 平林さん (百五経済研究所 会員企業)

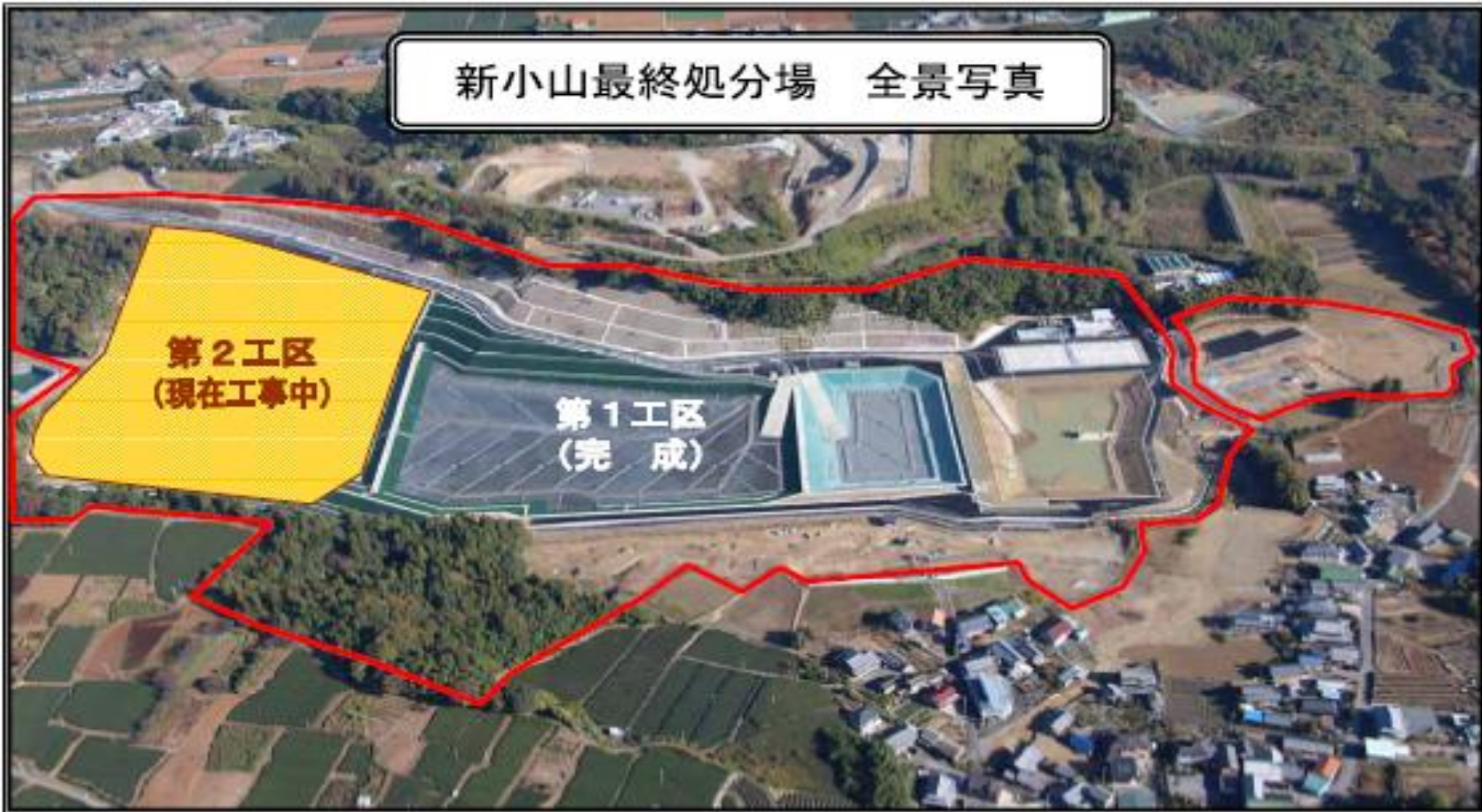
5. 訪問先

一般財団法人 三重県環境保全事業団

新小山処分場 (産業廃棄物処理センター)

— 産業廃棄物の最終処分 (埋立) とリサイクル (中間施設) —

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。



新小山最終処分場 全景写真

第2工区
(現在工事中)

第1工区
(完成)

施設総面積 285,200 m² 東京ドーム 6.5 倍

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

企業訪問-1

(三重県環境保全事業団 新小山最終処分場)



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 目的 静岡市清水区にある日本の物流業の中核をなす鈴与グループの本社・危機管理室，および物流現場を訪問して，同社の危機管理体制や具体的対策を学び，この学びを自社のPDCA改善に活かす
2. 日程 2014年12月9日
3. 参加人数 9名
4. 担当幹事 後藤さん（鈴与(株)危機管理室長）
5. 訪問先
 - * 鈴与(株) 本社災害対策本部室
 - * 円上坊清水国際流通センター（プジョー部品センター）
 - * 富士見埠頭（マレーシアからのベニヤ板陸揚げ作業）
 - * 清水港コンテナターミナル（コンテナ陸揚げ・船積み作業）
 - * 輸出電化製品受渡倉庫
 - * 本社 質疑応答

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

企業訪問-2



鈴与 株式会社 (会員企業)



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

講習会

1. 目的

財務情報のみならず、有事における非財務情報（防災力・事業継続力）で企業価値をより適切に評価するD B J B C M格付を取入れ、自社の企業価値を高める手法を学習する

2. 日程 2014年7月14日

3. 参加人数 18名

4. 演題 「金融機関におけるB C Mとレジリエンス」

日本政策投資銀行

B C M格付主幹

B C A O 理事

蛭間芳樹 様

講習会

- ① 震災による倒産企業の分類と規模・傾向（サプライチェーンの視点から）
- ② B C M格付融資（企業の危機管理能力向上を目指す）
- ③ 実際の格付業務の流れ，査定企業例，総合的評価
- ④ D B Jリスク・ランドスケープ調査報告
- ⑤ 20世紀から世界で起きた災害や危機の種類別規模・推移
- ⑥ 防災記号標準化の重要性
- ⑦ レジリエンスの意味・定義と浸透



2015年度の活動計画

- ① 各所属組織のBCP・BCMの取組み状況や問題に関わる情報交換，座長などからの国際標準化や中京地域の官民連携の動きに関する状況アップデートなどを展開していく
- ② 企業訪問（会員企業訪問）
問題を見つける目は現地で。「現地現物」の精神で，今年度も会員企業を訪問して，この学びを自社のPDCA改善に活かしていく
- ③ WGにおいて研究テーマを討議する

ご清聴ありがとうございました

**特定非営利活動法人
事業継続推進機構
名古屋 地域勉強会**

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)